

CONCEPT

“夕陽と共に四季を楽しむ家”

Living & Dining



リビング&ダイニング / 「食事を楽しんだ後はゆっくり過ごしたい」そんな思いを叶えるリビングです。フローリングは無垢のバイン材を使用。昼は障子から柔らかな光が入ってきて、夜は落ち着いた空間に様変わります。

「おりえ」モデルハウスの2弾となった『夕陽と共に四季を楽しむ家』。中古住宅の利点は、ロケーションも日当たりも未来も全て確認できることです。それを確認したうえで、リノベーションをすればこんなことができます、という提案を盛り込みました。10畳のリビングダイニングは、18.5畳のリビングダイニングキッチンへと大胆に間取り変更。日常の生活の場である生活動線を大切にしながら、せつかくの四季を感じられるロケーションも贅沢に計画に入れています。特にリビング⇒ダイニング⇒アウトドアリビング(お庭)⇒八幡方面への眺望は、移りゆく季節、変わりゆく時間の変化を享受できる他にない空間に仕上がっています。四季がある美しい国・日本。だからこそ、四季を暮らしに取り込めれば人生はより豊かになるはず。「おりえ」はそう考えています。



アウトドアリビング / せつかくの一戸建て。「お庭を駐車場だけで利用するのはもったいない」と考えます。木々を剪定するだけで家キャンプも可能なお庭に変身。それはかりか、アウトドアリビングとして、ダイニングリビングをより心地よい空間にしてくれます。



キッチン&ダイニング(夜) / 視界が開けているということは視線もないということ。夜も庭木をライトアップして楽しめます。家飲みが増えそうです。



キッチン&ダイニング / 10畳のリビングダイニングをキッチン&ダイニングに間取り変更。南面も西面も開いているので、彩光も通風も快適です。

Kitchen & Dining

生活動線



キッチン/パントリーによってキッチンはすっきり。棚にはお気に入りの写真や食器を飾るのもアリ。好きを暮らしに取り込むことが、愛着のわく暮らしの原点です。



パントリー/キッチンからつながるパントリーを充実。ゴミ箱も洗濯機もちょっと奥まった位置に配置したので、目隠しも布で簡単にできます。



洗面/キッチン⇒パントリー⇒洗面⇒浴室を回廊できる動線を確保。一日の疲れをゆっくり癒せるよう落ち着いた空間に仕上げています。

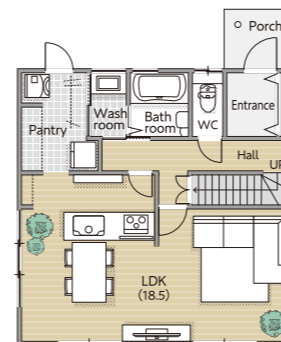
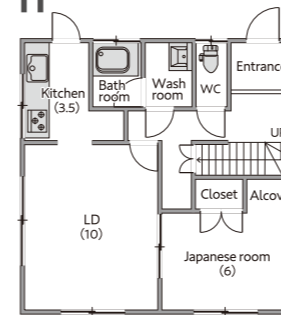
デザイナーのこだわり

建物が持つ魅力は、それ自身だけではなく、そこから見える風景やそこに流れる時間の質によっても大きく変わる…と改めて感じる事のできた物件です。高台の住宅地の西端に位置するこの物件は、通常ならあまり歓迎されない西日がしっかりと当たる方向に、季節折々の木々が植えられた三角形の庭がありました。前面道路からは見えず、その存在をも忘れ去られてうっそうとしていましたが、その庭こそが、ここでの暮らしを豊かに彩ってくれるものになりました。日中はカーテンを全開にして庭やその先の見晴らしのよい借景を目で味わい、昼も過ぎ、直射が射す時間帯からは白いカーテンに木々が風に揺れる様を投影させて、時の流れを味わう…いつまでもそこに居たい…そんな寛ぎの空間になりました。

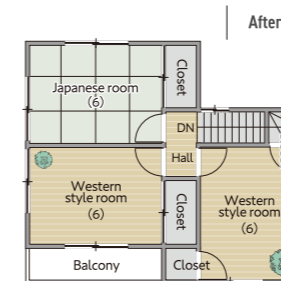
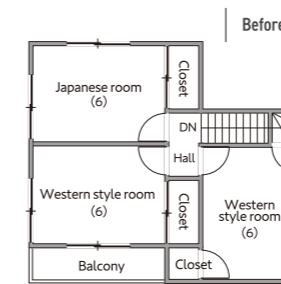


リビング/ダイニングと隣接した場所に和室をつぶしてリビングを設置。障子はインテリアイメージに合わせて黒に塗装しました。また、インテリアを配置変更できるようにテレビコンセントは2か所に設け、照明も対応できる位置に配置しました。

1F



2F



Living room

